



今月の写真：「原木なめこ」(檜枝岐村)

南会津は、その面積の93%が森林であります。広葉樹の森が多いことから、稔りの秋には栽培キノコと共に沢山の種類のキノコが収穫できます。代表的なキノコとしては、マイタケ、イノハナ、マツタケ、シメジ、ナメコなどがあります。最近の話題となっている「満点なめこ」は、下郷町で栽培されています。皆さんは、もう召し上がりましたか？

今月の内容：

- 第100号発行にあたって
- 今月のトピックス
  - ・ 南会津地方森林セラピー研究会による検討会を開催！
  - ・ 普及事業外部評価懇談会現地調査を実施！
- 農林事務所からお知らせ  
平成18年度森林環境基金事業の概要
- 特集！  
南会津のうりんニュースのあしあと
- 南会津の名水の話  
遊山清水 (檜枝岐村役場 産業建設課)
- 農林事務所からお知らせ

平成18年9月11日発行 福島県南会津農林事務所

## 第100号発行にあたって

南会津農林事務所長 鈴木伸司

平成10年6月に第1号が発行された「南会津のうりんニュース」は、今月で第100号を迎えました。当農林事務所では、南会津地方における農林業に関するイベント、ニュース、そして県が推進している施策などについて、多くの皆様にいち早く情報をお届けするために、毎月発行してきたところであり、ひとえに各町村を初めとする関係機関と地域の皆様からの多大なるご支援によるもので、ここに深く感謝申し上げます。


さて、御承知のとおり農林業を取り巻く情勢は、WTOにおける農業交渉の中断や平成19年産から品目横断的経営安定対策の導入など大きな変革の時期に直面しております。

このような農政の大幅な転換に向け、農林事務所といたしましては関係機関と連携しながら、集落営農の確立などを含めた担い手の育成・確保を図ることについて、総力をあげて取り組んでいるところであります。

情報が膨大に溢れている時代において、なるべく読みやすく分かりやすい皆様の情報源となるよう、またこれまで培ってきた情報・技術を今後のさらなる発展の糧とし、地域の皆様の身近な県の広報誌として親しまれるよう、職員一堂一層の努力を積み重ねて行く所存であります。

今後とも皆様からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 今月のトピックス

 **南会津地方森林セラピー研究会による検討会を開催！**

去る8月8日、8月25日に、南会津地方森林セラピー研究会(以下「研究会」という。)による検討会を開催しました。

この研究会は、南会津郡内の豊富な森林や温泉資

(2ページに続く)

(1 ページから続く)



源を利用した森林セラピーによる地域振興の可能性について公民一体となって検討するため、平成17年10月に立ち上げられたものです。

8月8日に開催した、平成18年度第1回検討会では、研究会の会長・副会長・会計の選出や平成18年度の予算及び活動内容などについて話し合いました。また、8月25日の第2回検討

会では、今年実施するモニターツアーの内容検討に加え、南会津町南郷にある「宮床湿原」及び「高清水自然公園」の現地調査を実施しました。

それぞれの検討会の結果、今年は、森を案内する方々の資質向上を目的とした研修会の開催やモニターツアーを実施しながら、南会津地方の特徴を生かした取り組みに向けてみんなで活動していくこととなりました。

管内の入り込み客数が増加する一方、宿泊者数が減少傾向にある現在、この森林セラピーが南会津地方の特徴的な取り組みとなり、交流人口の拡大や地域振興につながる事が望まれます。

(地域農林企画室、森林林業部)

## 普及事業外部評価懇談会

### 現地調査を実施!!

長 かった梅雨が明けた翌8月3日、普及事業外部評価懇談会による現地調査が行われました。

今年度は、「担い手」及び「環境にやさしい農業」関連の2課題を評価予定のため、関連する現地の状況を調査したもので、南会津町田部の湯田浩仁・江美夫妻宅では味噌加工と花きの生産販売状況、JA会津みなみのトマト選果場では最新施設とトレーサビリティ、南会津町宮床の南郷トマト生産組合長 馬場孝法氏ほ場では環境にやさしい南郷トマトの生産状況、南会津町和泉田の菊地克明・弥生夫妻のトマトほ場では新規参入の経緯等についてお話を聞きました。お世話になりました皆様、ありがとうございました。



菊地氏ほ場現地調査

今年一番の暑さという中で、湯田会長外3委員からも熱い質問が次々と出され、農業の現状や明日に向かって頑張る農業者の様々な取り組み状況が説明されたところでした。

今後は、来年2月頃に普及活動実績に基づき外部評価を実施することになりますが、実際場面を目にしたことで、より分かりやすい評価の会議になるものと期待されます。

(農業普及部)

## 農林事務所からお知らせ

### 平成18年度森林環境基金事業の概要 (その1)

#### ◎森林環境基金事業について

県では平成18年度より森林環境税を導入し、森林環境の保全と県民全体で森林を守り育てる意識の醸成のため、各種事業を展開しております。

事業は県が直接実施する県事業と市町村が創意工夫を凝らして事業に取り組む森林環境交付金事業に分かれます。さらに、森林環境交付金事業は、全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む森林環境基本枠と優れた提案事業に重点的に取り組む地域提案重点枠に分かれます。

#### ◎平成18年度の森林環境交付金事業決定状況

市町村が独自に取り組む森林環境交付金事業において、基本枠は全市町村に森林面積等を基礎に

算定され交付されるもので、森林づくりを推進するためのソフト事業を対象としています。一方、重点枠は森林環境の保全などのためのハード事業を対象に、市町村からの提案を一般公募の方も委員に含まれる「森林の未来を考える懇談会」の審査を経て採択されるもので、今回県内28市町村からの42事業提案が採択されました。南会津管内からも重点枠に下記のとおり2事業を要望して採択され、今年度実施されます。

#### ○採択された重点枠の事業

(千円)

町 村	決定額	事業概要
南会津町	2,536	森林整備の推進 (里山林整備として遊歩道整備、花木植栽等)
下郷町	2,054	県産間伐材の利活用推進 (地域振興施設として活用している廃校施設の雪囲い等外構施設整備)



# 南会津のうりんニュースのあしあと

「南会津のうりんニュース」は、平成10年6月に白黒紙面で創刊号が発行されて以来、その後3回大きな紙面構成変更を行いながら、本号の第100号に至りました。

この間本誌は、南会津の農林業における大きなニュースや出来事などを発信すると共に、「記録」する役割も果たしてきました。

そこで本号の「特集!」では、創刊後8年間におよぶ本誌の移り変わりを紹介します。

なお、バックナンバーについては、南会津農林事務所ホームページ内で見ることができますので、ぜひこの機会にアクセスしてみてください。

←平成10年4月に農政事務所、農地事務所、林業事務所、農業改良普及センターが統合し、南会津農林事務所がスタート。南会津地方の農林業に関する一体的な情報の収集、広報活動の一環として当広報誌が発行されました。当初は、白黒紙面でありました。

## 南会津のうりんニュース

### 創刊号のうりんニュース発行にあたって

南会津地方の農林業の発展、農産物の生産、販売、消費、そして消費者意識の向上を目的として、南会津農林事務所が発行する「南会津のうりんニュース」を創刊いたします。本誌は、南会津地方の農林業の発展を促進し、消費者の意識向上を図ることを目的として発行いたします。本誌の発行は、南会津地方の農林業の発展に貢献し、消費者の意識向上を図ることを目的として発行いたします。

### 今月のトピック

**「お米まき」の準備が完了**  
お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。



**「お米まき」の準備が完了**  
お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。お米まきの準備が完了しました。

創刊号(平成10年6月)



第24号(平成12年5月)  
↑当号からカラー紙面になりました。



第50号(平成14年7月)  
↑今から4年前の7月に、半分となる第50号を迎えました。

→平成14年10月28日深夜から降りそそいだ早すぎる大雪を伝える記事が象徴的な紙面。

観測史上最も早い初雪は、南会津地方に大きな災害をもたらしました。(この直後の、11月9日の雪害も含め、計約8600万円の被害がありました。)

その後の平成16年度、平成17年度の冬にも大雪による雪害が続きました。今年も、注意が必要です。



第55号(平成14年12月)



第71号(平成16年4月)

←現在の紙面スタイルへモデルチェンジした第71号。この後も、少しずつ変更しながら現在に至っています。

## 番外編 最も問い合わせが多い記事

### 南会津再発見

#### 獲りたい特産品 天然砥石

かつて、町の特産品の一つに天然砥石がありました。明治期の第4回内閣勸業博覧会、品質優良品として賞状を授けられて、生産者も大々となっていました。以前は用器として身近なものでした。特に農家は、どこも農具を削っていたため、馬場町には毎日のように、鎌や鋤の刃が削られる風景がありました。町内では、砥石の産地として知られていました。町内では、砥石の産地として知られていました。町内では、砥石の産地として知られていました。



砥石の産地 馬場町

←旧田島町農林課より投稿頂いた滝ノ原地区の「天然砥石」の紹介の記事。

現在でも全国各地から、この砥石の有無に関する問い合わせがあります。

※なお、現在この「天然砥石」は入手困難とのことです。

# 南会津の名水の話

## ゆさん 遊山清水 (桧枝岐村)

桧枝岐村役場 産業建設課

桧枝岐村上大畑から帝釈山(2059.6m)登山口へ向かう山道を車で約40分。登山口駐車場手前150mほどの道脇にあります。

地元の、山を楽しむ「遊山会(ゆさんかい)」のメンバーが帝釈登山の際見つけ、名づけました。



遊山清水

本来仏教語であった遊山の「遊」は自由に歩き回ること。「山」は寺のことで、修行を終えた後、他山(他の寺)へ修行遍歴の旅をすることから転じて、山野の美しい景色を楽しみ、曇りのない心境になることを意味するようになり、気晴らしに遊びに出かける、山野で遊ぶといった意味で広く使われるようになりました。

この遊山清水は冷たく水量も多いので、訪れた登山客の飲料水などに喜んで利用されています。

コーヒーやお茶はもちろん、水割用の水としてポリタンクで持ち帰り、一日の山の疲れを癒している方もいるようです。



帝釈山山頂からの景色

# 農林事務所からお知らせ

## 福島県の農林水産業に関するメールマガジンの発行のお知らせ!

福島県農林水産部では、福島県の農林水産業や旬の農林水産物、イベントなどの情報を迅速に、分かりやすく皆様にお届けするために、メールマガジン「ふくしま食・農通信」が平成18年8月25日に創刊号が発行されました。ぜひご覧ください。

### 内 容

- ◆食と農に関する話題の紹介
- ◆地域の農林水産物や加工品、直売所など地産地消に関する情報
- ◆イベントなどの県からのお知らせ
- ◆農林水産業の現状や用語解説などの知識のコーナー



### 登録方法

メールマガジンの配信を希望される方は、下記のアドレスにアクセスし、登録フォームに電子メールアドレスを入力してください。

「ふくしま食・農通信」  
創刊号

### ■メールマガジン登録用ホームページ

<http://www.pref.fukushima.jp/norinsuisan/mailmag/>

※携帯電話等には対応していません。

※登録、配信は無料です。ただし、メールを受信するためのプロバイダ料金や通信料金などはご自身の負担となります。

### ■第2号は、9月22日(金)発行予定です。

詳しくは、地域農林企画室へお尋ね下さい。



### お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。